

令和5年度 津南町職員採用試験実施要綱 (文化財専門員)

令和6年4月に採用の津南町職員(文化財専門員)を次のとおり募集します。

1 職種及び採用予定人員

- (1) 文化財専門員 1名程度

2 受験資格

- (1) 文化財専門員

昭和43年4月2日以降に生まれた者で、学校教育法に定める大学または大学院において考古学の専門課程を履修した者

- (2) 次のいずれかに該当する者は受験できません。

- ・日本の国籍を有しない者
- ・禁こ以上の刑に処せられ、その執行が終わるまで、または執行を受けることがなくなるまでの者
- ・津南町職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- ・日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3 試験日時及び会場

- (1) 第1次試験(小論文試験)

①対象者 文化財専門員の受験申込者

②期 日 令和5年11月12日(日)

③試験場 津南町役場(新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊585番地)

④試験の方法

ア 小論文試験

テーマに基づく記述式による小論文試験を行います。

⑤合格発表 11月下旬に決定し、受験者全員に結果を通知します。

(2) 第2次試験（面接試験）

①対象者 文化財専門員の第1次試験合格者

②期日等 12月下旬に津南町役場で実施する予定です。試験の日時、場所等については、決定次第対象者に通知します

4 受験申込期間及び場所

(1) 申込期間

令和5年9月20日（水）から令和5年10月31日（火）まで

（注）1 郵送の場合は、10月31日必着分まで受け付けます。

2 持参の場合は、午前8時30分から午後5時15分まで（ただし、土・日曜日及び祝祭日を除きます。）受け付けます。

(2) 申込場所 津南町役場 総務課

5 受験手続

(1) 申込書の請求先

津南町役場 総務課総務班

〒949-8292 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊 585 番地

TEL 025-765-3112（内線222）

※津南町のホームページで様式をダウンロードできます。

(2) 申込方法

受験申込書に所要事項を記入、押印し、写真（縦4cm、横3cm）1枚を貼り、他に2枚を添付して提出してください。

また、成績証明書と卒業証明書（見込み書）を提出してください。

(3) その他

不明な点は、津南町役場総務課総務班（TEL025-765-3112 内線222）までお問い合わせください。

このたび、広島大学は現代哲学・思想分野において、広島大学における「優れた大学教員の確保・育成のための方針～若手教員が安心して活躍する大学に～」に基づき雇用する教員1名（准教授又は助教）を国際公募します。

この公募により雇用する教員の職名は、採用時の業績審査により、准教授（テニュア（終身在職権））、テニュアトラック教員（准教授、助教）のいずれかに決定します。テニュアトラック教員として雇用された場合で、テニュアトラック期間満了までにテニュア審査に合格することを条件として、准教授としてテニュア（終身在職権）を取得できる新たなポストとなっています。新たな分野を切り開く研究計画提案のもとに、腰を据えて教育研究に専念していただくことを前提としています。

したがって、採用時の審査においては、それまでの教育研究業績の審査に加え、テニュアトラック期間に留まらず10年程度の中長期的な研究計画の内容について審査します。テニュア審査においては、その過程の到達度と将来の展望を加味して総合的に審査します。

広島大学は、採用されたテニュアトラック助教に対して、スタートアップ支援経費を措置します。また、メンター教員の配置等により教員が自立して研究活動を行うことのできる環境を整備しています。なお、テニュアが付与されなかった場合に、テニュアトラック期間の満了する日の翌日から1年を限度として、特任教員として雇用できる環境も整えています。

広島大学の理念、長期ビジョン、中期目標（<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about>）にご賛同いただき、広島大学の教育研究を背負ってご活躍いただける意欲のある方をお待ちしております。

広島大学長 越智光夫

広島大学の人事制度改革については、以下のURL先をご覧ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo>



2023年8月23日

関係各位

広島大学大学院人間社会科学研究科長
小林 信一（公印省略）

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本研究科では、下記の要領で教員を公募することとなりました。

つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよろしくお取り計らい願います。

敬具

記

1. 所属（配属）

広島大学学術院（大学院人間社会科学研究科人間総合科学プログラム）

2. 職名・人員

准教授又は助教 1名

※採用時の業績審査により、テニユア教員（准教授）、テニユアトラック教員（准教授、助教）のいずれかに決定

3. 採用予定年月日

2024年4月1日

4. 任期又は有期雇用契約期間

【テニユアトラック制適用の場合】

7年（テニユアトラック准教授が准教授のテニユアを取得する場合）

5年（テニユアトラック助教が准教授のテニユアを取得する場合）

- (1) 広島大学のテニユアトラック制に関する規則に基づき、テニユアトラック期間が満了する6月前までに准教授でのテニユアを付与するかどうかのテニユア審査を行い、これに合格すればテニユアを付与します。テニユア審査は、中間審査及び最終審査により行います。
- (2) 最終審査の結果、テニユアを付与しなかったときは、テニユアトラック期間の満了をもって退職となります。
- (3) テニユアトラック期間に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業期間に応じテニユアトラック期間を一定期間延長することができます。

5. 専門分野

現代哲学・思想

6. 担当科目

- (1) 教養教育科目：教養ゼミ（日本語又は英語）、哲学A・B（日本語又は英語）、英語コミュニケーション（日本語又は英語）等
- (2) 学部（専門教育科目）：現代思想（日本語）、比較哲学演習（日本語又は英語）、Contemporary Philosophy I・II（英語）、特別研究（日本語）等
- (3) 大学院（博士課程前期）：現代哲学（日本語又は英語）、特別研究（日本語）等
- (4) 大学院（博士課程後期）：特別研究（日本語又は英語）等
- (5) この他、教養教育科目や他の学部・大学院の専門教育科目も担当することがあります。

7. 応募資格

次の要件をすべて満たす者

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有すること。
- (2) 大学院における博士課程前期・博士課程後期の教育・研究指導ができること。
- (3) 英語による教育・研究指導ができること。

8. 応募書類

- (1) 履歴書（別添様式使用、写真貼付）。過去5年間に広島大学で雇用（TA、RA、研究員等を含む）されたことがある場合は、漏らさず記載してください。
- (2) 研究業績一覧（各研究業績に番号を付け、審査付論文の番号にはアンダーライン、主要研究業績5点には番号の冒頭に*印を付けること。）
- (3) 主要な研究業績5点（別刷又はコピー、著書）
- (4) 教育上の主要な業績
- (5) 社会貢献に関わる主要な業績
- (6) 大学等における管理運営に関わる主要な実績
- (7) 最近5年間における外部資金の獲得状況
- (8) 研究・教育に対する抱負と中長期計画（2,000～3,000字）
- (9) ResearcherID または ORCID 情報（様式任意）

※Clarivate Analytics 社または ORCID web ページより取得が可能。

9. 応募期限

2023年10月13日（金）17:00（日本標準時）（必着）

10. 応募書類送付先

〒739-8521 広島県東広島市鏡山1-7-1

広島大学 大学院人間社会科学研究科 人間総合科学プログラム長 辻 学

※封筒の表に「大学院人間社会科学研究科教員（現代の哲学・思想）応募書類在中」と朱書し、書留郵便で送付してください。

11. 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 必要に応じて面接を行うことがあります。面接を行う場合は、原則として、英語による模擬授業を行います。ただし、交通費等は支給できませんので、あらかじめ御了承ください。なお、書類審査通過者に面接を行う場合は、その形式について、別途連絡します。
- (3) 広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績（研究業績、教育業績、社会貢献等）及び人物の評価において同等と

認められた場合は女性を採用します。

12. 勤務形態

- (1) 勤務時間 8:30～17:00（月～金）、休憩時間 12:00～12:45（専門業務型裁量労働制の適用に同意した場合は、1日7時間45分働いたものとみなされます。）
- (2) 勤務日は、原則として月曜日から金曜日（祝日を除く。）です。
- (3) 休日は、原則として土曜、日曜、祝日となります。

13. 給与等

- (1) 採用となった方には、年俸制（II）（2021年10月施行）が適用されます。
- (2) 採用となった方には、本学の規則に基づき、採用に伴う旅費を支給できる場合がありますのでお問い合わせください。

※本学は、競争的研究費や共同研究費などの直接経費から研究者の人件費を支出することにより、確保された財源を研究者自身の処遇改善（給与の上乗せ）や研究環境改善に活用できる仕組みを導入し、研究者が安心して研究に集中できる環境を整備しています。

14. 評価

本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映します。

15. 募集者名

国立大学法人広島大学

16. その他

- (1) 試用期間：あり（6月間）
- (2) 応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続に利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。なお、採用に至らなかった方の応募書類は、当該採用選考業務終了後、適切な方法にて返却いたします。
- (3) 広島大学では全ての大学教員は「学術院」に所属し、学部、研究科、研究院、病院などの教育研究組織に配属されます。
- (4) 配属された教育研究組織の教育・研究に従事することになりますが、他の教育研究組織の教育・研究、全学事業を担当することもあります。
- (5) 広島大学では教員の分野ごとに採用最低基準を定めています。人事選考過程の第一次選考において本基準を適用し、最低基準を満たした方を選考対象といたします。本公募で適用する採用最低基準は以下のURLに掲載しています。
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo/>
- (6) 広島大学では本人事以外にも本学の求人情報（研究職、事務職等）を提供しています。配偶者が就業を希望される場合等にご参照ください。
求人情報：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment>
- (7) 広島大学は、2020年1月からキャンパス内全面禁煙となっています。

17. 問い合わせ先

広島大学大学院人間社会科学研究科人間総合科学プログラム 教授 関村 誠

TEL:082-424-6379 FAX: 082-424-0752
E-mail: sekimura@hiroshima-u.ac.jp

5. 基準分野ごとの指標と水準

< 1. 人文学 >

- ・研究業績の指標は、「学術書・学術論文執筆数」を用いる。

(1)新規採用のための最低基準

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
研究業績	70 点以上	40 点以上	30 点以上	20 点以上

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授, 講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期 間	7 年	7 年	5 年	7 年	5 年
研究業績	70 点以上	40 点以上	40 点以上	30 点以上	30 点以上

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)

設定なし。

表1-1：研究業績点

項 目	種 別	点 数	追加点数
学術書	(1) 国際学術誌又は広島大学人文社会系学術雑誌リスト(HU_AHSS)の雑誌で書評の対象となったもの, 出版助成を受けたもの, 学会などの賞を受賞したもの	40/件	外国語：+10
	(2) その他	30/件	外国語：+5
学術論文	(1) SCI, SSCI, A&HCI, SCOPUS®, Web of Science® 論文	20/件	
	(2) 広島大学人文社会系学術雑誌リスト(HU_AHSS)の雑誌に掲載された論文, 又は(1)以外の国際学術誌に掲載された論文	10/件	

(*1) 共著とは、学術書、学術論文を問わず、表紙・扉・奥付等に記名があるものに限る。

(*2) 共著の点数は、学術書、学術論文を問わず、1件につき下記の計算式から算出する。

筆頭著者(アルファベット順でない)、責任著者(corresponding author)：点数×点

その他：点数/共著人数

(*3) 学術書の分担執筆の点数は、(1) 10/件、(2) 5/件とする。

(*4) 「広島大学人文社会系学術雑誌リスト(HU_AHSS)」に関しては、今後必要な修正を行うことを前提とする。

このたび、広島大学は西洋史学（近代ヨーロッパ史）研究分野において、広島大学における「優れた大学教員の確保・育成のための方針～若手教員が安心して活躍する大学に～」に基づき雇用する教員1名（准教授又は助教）を国際公募します。

この公募により雇用する教員の職名は、採用時の業績審査により、准教授（テニュア（終身在職権））、テニュアトラック教員（助教）のいずれかに決定します。テニュアトラック教員として雇用された場合で、テニュアトラック期間満了までにテニュア審査に合格することを条件として、准教授としてテニュア（終身在職権）を取得できる新たなポストとなっています。新たな分野を切り開く研究計画提案のもとに、腰を据えて教育研究に専念していただくことを前提としています。

したがって、採用時の審査においては、それまでの教育研究業績の審査に加え、テニュアトラック期間に留まらず10年程度の中長期的な研究計画の内容について審査します。テニュア審査においては、その過程の到達度と将来の展望を加味して総合的に審査します。

広島大学は、採用されたテニュアトラック助教に対して、スタートアップ支援経費を措置します。また、メンター教員の配置等により教員が自立して研究活動を行うことのできる環境を整備しています。なお、テニュアが付与されなかった場合に、テニュアトラック期間の満了する日の翌日から1年を限度として、特任教員として雇用できる環境も整えています。

広島大学の理念、長期ビジョン、中期目標（<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about>）にご賛同いただき、広島大学の教育研究を背負ってご活躍いただける意欲のある方をお待ちしております。

広島大学長 越智光夫

広島大学の人事制度改革については、以下のURL先をご覧ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo>



2023年8月23日

関係各位

広島大学大学院人間社会科学研究科長
小林 信一（公印省略）

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本研究科では、下記の要領で教員を公募することとなりました。

つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよろしくお取り計らい願います。

敬具

記

1. 所属（配属）

広島大学大学院（大学院人間社会科学研究科）

2. 職名・人員

准教授又は助教 1名

※採用時の業績審査により、テニュア教員（准教授）、テニュアトラック教員（助教）のいずれかに決定

3. 採用予定年月日

2024年4月1日

4. 任期又は有期雇用契約期間

テニュア教員（准教授）は任期はありません。

【テニュアトラック制5年適用の場合】

5年（テニュアトラック助教が准教授のテニュアを取得する場合）

- (1) 広島大学のテニュアトラック制に関する規則に基づき、テニュアトラック期間が満了する6月前までに准教授でのテニュアを付与するかどうかのテニュア審査を行い、これに合格すればテニュアを付与します。テニュア審査は、中間審査及び最終審査により行います。
- (2) 最終審査の結果、テニュアを付与しなかったときは、テニュアトラック期間の満了をもって退職となります。
- (3) テニュアトラック期間に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業期間に応じテニュアトラック期間を一定期間延長することができます。
※テニュア審査基準の詳細については、お問合せください。

5. 専門分野

西洋史学（近代ヨーロッパ史）

6. 担当科目

- (1) 教養教育科目：ヨーロッパ史 B
- (2) 学部（専門教育科目）：ヨーロッパ政治社会史研究，異文化交流史，他
- (3) 大学院（博士課程前期）：近代国家論研究，欧米社会経済史史料研究，他
- (4) 大学院（博士課程後期）：特別研究，他
- (5) この他，教養教育科目や他の学部・大学院の専門教育科目も担当することがあります。

7. 応募資格

次の要件をすべて満たす者

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有すること。
- (2) 准教授の場合は，著書（単著）1冊以上または論文10編（うちレフェリー付論文3編以上を含む）以上の業績を有すること。
助教の場合は，論文3編以上の業績を有すること。
なお，いずれの場合も，広島大学における教員の採用最低基準（分野別）を満たすものとする。
- (3) 大学院博士課程前期・後期における教育・研究指導ができること。
- (4) 英語による教育・研究指導ができることがのぞましい。
- (5) ヨーロッパの大学への留学経験が一年間以上あること。

8. 応募書類

- (1) 履歴書（別添様式使用，写真貼付）。過去5年間に広島大学で雇用（TA，RA，研究員等を含む）されたことがある場合は，漏らさず記載してください。
- (2) 研究業績一覧（各研究業績に番号を付け，審査付論文の番号にはアンダーライン，主要研究業績5点には番号の冒頭に*印を付けること。）
- (3) 主要な研究業績5点（別刷又はコピー，著書）
- (4) 教育上の主要な業績
- (5) 社会貢献に関わる主要な業績
- (6) 大学等における管理運営に関わる主要な実績
- (7) 最近5年間ににおける外部資金の獲得状況
- (8) 研究・教育に対する抱負と中長期計画（2,000～3,000字）
- (9) ResearcherID または ORCID 情報（様式任意）

※Clarivate Analytics 社または ORCID web ページより取得が可能。

9. 応募期限

2023年10月31日17:00（日本標準時）（必着）

10. 応募書類送付先

〒739-8522 広島県東広島市鏡山1-2-3

広島大学大学院人間社会科学研究科人文学プログラム長 友澤 和夫

※封筒の表に「大学院人間社会科学研究科人文学プログラム（西洋史学）教員応募書類在中」と朱書きし，書留郵便で送付してください。

11. 選考方法

(1) 書類審査

(2) 必要に応じて面接を行うことがあります。面接を行う場合は、原則として、英語による模擬授業を行います。ただし、交通費等は支給できませんので、あらかじめ御了承ください。なお、書類審査通過者に面接を行う場合は、その形式について、別途連絡します。

(3) 広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績（研究業績、教育業績、社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。

12. 勤務形態

(1) 勤務時間 8:30～17:00（月～金）、休憩時間 12:00～12:45（専門業務型裁量労働制の適用に同意した場合は、1日7時間45分働いたものとみなされます。）

(2) 勤務日は、原則として月曜日から金曜日（祝日を除く。）です。

(3) 休日は、原則として土曜、日曜、祝日となります。

13. 給与等

(1) 採用となった方には、年俸制（II）（2021年10月施行）が適用されます。

(2) 採用となった方には、本学の規則に基づき、採用に伴う旅費を支給できる場合がありますのでお問い合わせください。

※本学は、競争的研究費や共同研究費などの直接経費から研究者の人件費を支出することにより、確保された財源を研究者自身の処遇改善（給与の上乗せ）や研究環境改善に活用できる仕組みを導入し、研究者が安心して研究に集中できる環境を整備しています。

14. 評価

本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映します。

15. 募集者名

国立大学法人広島大学

16. その他

(1) 試用期間：あり（6月間）

(2) 応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続に利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。なお、採用に至らなかった方の応募書類は、当該採用選考業務終了後、適切な方法にて返却いたします。

(3) 広島大学では全ての大学教員は「学術院」に所属し、学部、研究科、研究院、病院などの教育研究組織に配属されます。

(4) 配属された教育研究組織の教育・研究に従事することになりますが、他の教育研究組織の教育・研究、全学事業を担当することもあります。

(5) 広島大学では教員の分野ごとに採用最低基準を定めています。人事選考過程の第一次選考において本基準を適用し、最低基準を満たした方を選考対象といたします。

本公募で適用する採用最低基準は以下の URL に掲載しています。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo/>

- (6) 広島大学では本人事以外にも本学の求人情報（研究職，事務職等）を提供しています。配偶者が就業を希望される場合等にご参照ください。

求人情報：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment>

- (7) 広島大学は，2020 年 1 月からキャンパス内全面禁煙となっています。

17. 問い合わせ先

広島大学大学院人間社会科学研究科人文学プログラム教授 前野 弘志

TEL:082-424-6650 FAX:082-424-0315

E-mail:hmaeno@hiroshima-u.ac.jp

(別紙 2)

西洋史学分野の新規採用のための最低基準

○准教授

- ・学位（着任時）：博士号所持
- ・研究業績：40 点以上

○助教

- ・学位（着任時）：博士号所持
- ・研究業績：20 点以上

※ 上記の研究業績の点数は、次の指標に基づいて算出する。

学術書（単著）

- (1) 国際学術誌又は下記の雑誌で書評の対象となったもの、出版助成を受けたもの、学会などの賞を受賞したものは、1 件につき 40 点。なお、外国語で執筆した場合は 10 点を加算する。
- (2) その他は、1 件につき 30 点。なお、外国語で執筆した場合は 5 点を加算する。

学術論文（単著）

- (1) SCI, SSCI, A&HCI, SCOPUS, Web of Science 論文は、1 件につき 20 点。
- (2) 下記の雑誌に掲載された論文、又は (1) 以外の国際学術誌に掲載された論文は、1 件につき 10 点。

※ 学術書の (1)、学術論文の (2) で言及した西洋史学関連の雑誌は以下の通り。

史学雑誌, 史林, 西洋史学, 歴史学研究, 史学研究, 他

このたび、広島大学は文化人類学研究分野において、広島大学における「優れた大学教員の確保・育成のための方針～若手教員が安心して活躍する大学に～」に基づき雇用する教員1名（准教授又は助教）を国際公募します。

この公募により雇用する教員の職名は、採用時の業績審査により、准教授（テニュア（終身在職権））、テニュアトラック教員（准教授、助教）のいずれかに決定します。テニュアトラック教員として雇用された場合で、テニュアトラック期間満了までにテニュア審査に合格することを条件として、准教授としてテニュア（終身在職権）を取得できる新たなポストとなっています。新たな分野を切り開く研究計画提案のもとに、腰を据えて教育研究に専念していただくことを前提としています。

したがって、採用時の審査においては、それまでの教育研究業績の審査に加え、テニュアトラック期間に留まらず10年程度の中長期的な研究計画の内容について審査します。テニュア審査においては、その過程の到達度と将来の展望を加味して総合的に審査します。

広島大学は、採用されたテニュアトラック助教に対して、スタートアップ支援経費を措置します。また、メンター教員の配置等により教員が自立して研究活動を行うことのできる環境を整備しています。なお、テニュアが付与されなかった場合に、テニュアトラック期間の満了する日の翌日から1年を限度として、特任教員として雇用できる環境も整えています。

広島大学の理念、長期ビジョン、中期目標（<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about>）にご賛同いただき、広島大学の教育研究を背負ってご活躍いただける意欲のある方をお待ちしております。

広島大学長 越智光夫

広島大学の人事制度改革については、以下のURL先をご覧ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo>



2023年9月20日

関係各位

広島大学大学院人間社会科学研究科長
小林 信一（公印省略）

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本研究科では、下記の要領で教員を公募することとなりました。

つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよろしくお取り計らい願います。

敬具

記

1. 所属（配属）
広島大学学術院（大学院人間社会科学研究科）
2. 職名・人員
准教授又は助教 1名
※採用時の業績審査により、テニユア教員（准教授）、テニユアトラック教員（准教授、助教）のいずれかに決定
3. 採用予定年月日
2024年4月1日
4. 任期又は有期雇用契約期間
テニユア教員（准教授）の場合は無期雇用
テニユアトラック准教授が准教授のテニユアを取得する場合は7年
テニユアトラック助教が准教授のテニユアを取得する場合は5年
 - (1) 広島大学のテニユアトラック制に関する規則に基づき、テニユアトラック期間が満了する6月前までに准教授でのテニユアを付与するかどうかのテニユア審査を行い、これに合格すればテニユアを付与します。テニユア審査は、中間審査及び最終審査により行います。
 - (2) 最終審査の結果、テニユアを付与しなかったときは、テニユアトラック期間の満了をもって退職となります。
 - (3) テニユアトラック期間に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業期間に応じテニユアトラック期間を一定期間延長することができます。
5. 専門分野
文化人類学

6. 担当科目

- (1) 教養教育科目：Introduction to Cultural Anthropology（英語） 等
- (2) 学部専門科目：Environmental Humanities（英語）、Special Study（英語） 等
- (3) 大学院（博士課程前期）：Ethnographic Theory, Special Study（英語） 等
- (4) 大学院（博士課程後期）：Special Study（英語） 等
- (5) この他、教養教育科目や他の学部・大学院の専門教育科目も担当することがあります。准教授採用と助教採用の場合では、担当科目数が異なります。

7. 応募資格

次の要件をすべて満たす者

- (1) 採用予定日までに博士の学位(外国において授与されたこれに相当する学位を含む。)を有すること。
- (2) 博士課程後期の論文指導を担当できること。
- (3) 英語による教育・研究指導ができること。
- (4) 海外にて一年以上の調査、研究経歴を有すること。
- (5) 広島文化人類学プロジェクト研究センター(The Anthropological Institute of Hiroshima (TAIHI))の趣旨に賛同し、積極的に研究活動に関わっていただける方が望ましいです。センターについては以下の URL をご参照ください
<https://taihi.org/>

8. 応募書類

- (1) 履歴書（別添様式使用，写真貼付）。過去5年間に広島大学で雇用（TA，RA，研究員等を含む）されたことがある場合は，漏らさず記載してください。
- (2) 研究業績一覧（各研究業績に番号を付け，査読付論文の番号にはアンダーライン，主要研究業績5点には番号の冒頭に*印を付けること。単著・共著の別，筆頭著者等を明記し，SCI 等論文については，インパクトファクター，被引用数（被引用数調査日明記）を示すこと。さらに，次の項目についても記すこと。査読なし論文，総説，解説，報告書等，国際会議発表論文等（うち招待講演を明記），国内学会発表，特許，受賞・処分歴等。博士論文については題目を明記。外国での教育研究経歴（期間・国名を明記））
- (3) 主要な研究業績5点（PDF 化可能なものは CD に保存したものを送付すること。それ以外は，別刷又はコピーを送付。著書現物を送付する場合で，審査終了後返却希望の場合は，その旨明記すること。）
- (4) 教育上の主要な業績
- (5) 社会貢献に関わる主要な業績
- (6) 大学等における管理運営に関わる主要な実績
- (7) 最近10年間ににおける外部資金の獲得状況（期間，金額，代表者・分担者の別を明記）
- (8) 研究・教育に対する抱負と中長期計画（2,000～3,000字）
- (9) ResearchID または ORCID 情報（様式任意）
※Clarivate Analytics 社または ORCID web ページより取得が可能。

9. 応募期限

2023年11月13日（月）17:00（日本標準時）（必着）

10. 応募書類送付先

〒739-8529 広島県東広島市鏡山 1-5-1
広島大学東広島地区運営支援部 国際協力学系支援室

※封筒の表に「大学院人間社会科学研究所教員（文化人類学）応募書類在中」と朱書し、書留郵便で送付してください。

11. 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 必要に応じて面接（オンライン面接を含む）を行うことがあります。面接を行う場合は、原則として、英語による模擬授業を行います。ただし、交通費等は支給できませんので、あらかじめ御了承ください。なお、書類審査通過者に面接を行う場合は、その形式について、別途連絡します。
- (3) 広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績（研究業績、教育業績、社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。

12. 勤務形態

- (1) 勤務時間 8:30～17:00（月～金）、休憩時間 12:00～12:45（専門業務型裁量労働制の適用に同意した場合は、1日7時間45分働いたものとみなされます。）
- (2) 勤務日は、原則として月曜日から金曜日（祝日を除く。）です。
- (3) 休日は、原則として土曜、日曜、祝日となります。

13. 給与等

- (1) 採用となった方には、年俸制（II）（2021年10月施行）が適用されます。
- (2) 採用となった方には、本学の規則に基づき、採用に伴う旅費を支給できる場合がありますのでお問い合わせください。

※本学は、競争的研究費や共同研究費などの直接経費から研究者の人件費を支出することにより、確保された財源を研究者自身の処遇改善（給与の上乗せ）や研究環境改善に活用できる仕組みを導入し、研究者が安心して研究に集中できる環境を整備しています。

14. 評価

本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映します。

15. 募集者名

国立大学法人広島大学

16. その他

- (1) 試用期間：あり（6月間）
- (2) 応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続に利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。なお、採用に至らなかった方の応募書類は、当該採用選考業務終了後、適切な方法にて破棄いたします。
- (3) 広島大学では全ての大学教員は「学術院」に所属し、学部、研究科、研究院、病院などの教育研究組織に配属されます。
- (4) 配属された教育研究組織の教育・研究に従事することになりますが、他の教育研究組織の教育・研究、全学事業を担当することもあります。

- (5) 広島大学では教員の分野ごとに採用最低基準を定めています。人事選考過程の第一次選考において本基準を適用し、最低基準を満たした方を選考対象といたします。本公募で適用する採用最低基準は以下の URL に掲載しています。
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo/>
- (6) 広島大学では本人事以外にも本学の求人情報（研究職，事務職等）を提供しています。配偶者が就業を希望される場合等にご参照ください。
求人情報：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment>
- (7) 広島大学は、2020年1月からキャンパス内全面禁煙となっています。

17. 問い合わせ先

広島大学大学院人間社会科学研究科 国際平和共生プログラム 関 恒樹

TEL:082-424-6948

E-mail:seki@hiroshima-u.ac.jp

5. 基準分野ごとの指標と水準

< 1. 人文学 >

- ・研究業績の指標は、「学術書・学術論文執筆数」を用いる。

(1)新規採用のための最低基準

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
研究業績	70 点以上	40 点以上	30 点以上	20 点以上

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授, 講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期 間	7 年	7 年	5 年	7 年	5 年
研究業績	70 点以上	40 点以上	40 点以上	30 点以上	30 点以上

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)

設定なし。

表1-1：研究業績点

項 目	種 別	点 数	追加点数
学術書	(1) 国際学術誌又は広島大学人文社会系学術雑誌リスト(HU_AHSS)の雑誌で書評の対象となったもの, 出版助成を受けたもの, 学会などの賞を受賞したもの	40/件	外国語：+10
	(2) その他	30/件	外国語：+5
学術論文	(1) SCI, SSCI, A&HCI, SCOPUS®, Web of Science® 論文	20/件	
	(2) 広島大学人文社会系学術雑誌リスト(HU_AHSS)の雑誌に掲載された論文, 又は(1)以外の国際学術誌に掲載された論文	10/件	

(*1) 共著とは、学術書、学術論文を問わず、表紙・扉・奥付等に記名があるものに限る。

(*2) 共著の点数は、学術書、学術論文を問わず、1件につき下記の計算式から算出する。

筆頭著者(アルファベット順でない)、責任著者(corresponding author)：点数×点

その他：点数/共著人数

(*3) 学術書の分担執筆の点数は、(1) 10/件、(2) 5/件とする。

(*4) 「広島大学人文社会系学術雑誌リスト(HU_AHSS)」に関しては、今後必要な修正を行うことを前提とする。